

(様式例) 令和5年度都立青梅総合高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと」の指導の充実	・各科目の指導事項について、担当間による目標の共有を行い、小テスト・定期テストに反映、定着度の確認を行う。 ・校外の短歌コンテストへの参加	・授業内における、意見の表出と自分の言葉で他者に伝える機会の創出 ・大学や自治体等主催の韻文コンテストへの応募
社会	思考力・判断力・表現力の向上をはかり、現代社会の諸問題に対する判断力の基礎を養う。	日常の課題や定期考査に論述問題を設定し、思考力、判断力、表現力の向上を目指していく。	授業の中でグループワークなど主体的、対話的な活動を行い、社会的事象を多角的に考察し、他者と協働する力を養う。
数学	事象を数学的に理解・解釈し、数学的に表現・処理する能力を身に付けさせる。	必修科目にて、基礎基本の理解に重点を置き、日々の課題や定期テストに十分な量を盛り込んでいく。	数学の良さを理解し、積極的に数学を活用しようとする態度や創造性を養う授業の実施。
理科	科学的見方考え方を働かせた科学的活動を行う。	基礎・基本に重点を置き、演習・実習を通して思考力、判断力、表現力を養う。	・日常的にある、身の回りの事象を理解し考察する力をつける。 ・グループワークを実施し、表現力を養う。
英語	「話すこと(発表)」及び「書くこと」の指導の充実。	【英コミⅠ・Ⅱ】年3回以上のパフォーマンステスト(スキット・有名スピーチのレシテーション等)を実施。 【論表Ⅰ・Ⅱ】年3回のパフォーマンステスト(書くこと、話すことによる意見表明等)を実施。	・オンライン英会話の実施。 ・TGGの体験を活かしたスキット作成。 ・学年を超えたパフォーマンスコンテストの実施。 ・修学旅行などの体験を題材にしたプレゼンテーションの実施。